

平成二十二年度
高等学校入学者選抜学力検査問題

第一部

国語

注 意

- 1 問題は、**一**から**四**まであり、7ページまで印刷してあります。
- 2 答えは、すべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。
- 3 問いのうち、「……選びなさい。」「と示されているものについては、ア、イ、ウ、……、A、B、C、……の記号で答えなさい。

一 次の時を跳んで、問いに答えなさい。

(高野民雄「詩集 木と私たち」による)

問一 この詩で表現されている季節と同じ季節を詠んだ俳句はどれですか。最も適当なものを、
アーエから選びなさい。

ア 初雪や波のとどかぬ岩の上

イ 奥深き杉の木の間の紅葉かな

ウ 雪虫のゆらゆら肩を越えにけり

エ 菜の花の化したる蝶ちょうや法隆寺

問二 ―線「球根のかたくなな眠りさえ」とありますが、「眠りさえ」の後にことばを補うとき、最も適当な一文節を詩中から書き抜きなさい。

問三 この詩について説明した文として最も適当なものを、アーエから選びなさい。

ア この詩の前半では、暖められた風が自然を包みこむ様子が描かれ、後半では、その風が人々の心の奥にまで届くことで、人々の閉ざされていた心が開かれたことへの喜びが描かれている。

イ この詩の前半では、暖められた風が自然の中を吹き抜けていく様子が描かれ、後半では、その風が人々の中からだに触れることで、人々の心までも豊かになったことへの驚きが描かれている。

ウ この詩の前半では、暖められた風によって自然が変化していく様子が描かれ、後半では、その風が人々の心の奥にまで届くことで、人々の夢がふくらんでいくことへの期待が描かれている。

エ この詩の前半では、暖められた風によって自然がはぐくまれていく様子が描かれ、後半では、その風が人々の心の奥にまでは届かず、人々の夢が消えかけていることへの心配が描かれている。

二 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

(川西蘭「セカンドウィンドⅡ」による)

(注) MTB——マウンテンバイク。山での走行に対応する自転車。 グラブ——手袋。

問一——線1、3の読みを書きなさい。また、——線2を漢字で書きなさい。

問二——線1「ない」と同じく、状態を表すはたらきをしているものを、——線アーエから選びなさい。

問三——線2「おれが乗るのか?」とありますが、ジャンから自転車を押しつけられた洋がこのように言ったのは、ジャンがどのようなことを洋にしてくれると思っていたからですか、一文で書きなさい。

問四——線3「できるだけ簡単な、と言わないのは、ジャンの配慮だろう」とありますが、ジャンは、洋に対する配慮として、なぜ「できるだけ簡単な」と言わなかったと考えられますか。次の二つの語を使い、解答欄に示した表現に続けて、五十字程度で書きなさい。

マウンテンバイク

自尊心

問五——線Aと、——線Bの二つの「大丈夫だ」について、このように洋が言ったときの様子や気持ちを、それぞれ次のA、Bのようにまとめるとき、①、②に当てはまることばの組み合わせとして最も適当なものを、アーエから選びなさい。

A 転倒した痛みと、うまくマウンテンバイクを操ることができない悔しさと惨めさで涙が出そうになり、起き上がる気力も湧かず寝転がっていたが、心配して声をかけたジャンに対し ①。

B ジャンの後についてマウンテンバイクで山を下りることができた ②。か
ら、もはや疲れも悔しさも惨めさも感じず、とても愉快な気持ちになって、寝転がったまま笑い出した。

- | | | | | | |
|---|----------|---------|---|------------|---------|
| ア | (1) 反発した | (2) 解放感 | イ | (1) 同情を求めた | (2) 安心感 |
| ウ | (1) 強がった | (2) 満足感 | エ | (1) 照れ隠しした | (2) 脱力感 |

三 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

A 城^{じやうの}陸奥^{むつ}守泰盛^{しゆたうせい}は、さうなき馬乗りなりけり。馬を引き出^いさせけるに、足をそろへて闕^{くわ}をゆらりと越ゆるを見ては、「これは勇める馬なり」とて、鞍^{くら}を置きかへさせけり。又、足を伸べて闕^{くわ}に蹴^けあてぬれば、「これは鈍くして、あやまちあるべし」とて、乗らざりけり。道を知らざらん人、かばかり恐れなんや。

B 吉田と申す馬乗りの申し侍^{まへ}りしは、馬ごとにこはきものなり。人の力、あらそふべからずと知るべし。乗るべき馬をば、まづよく見て、強き所、弱き所を知るべし。次に、轡^{くわ}・鞍の具に、危^{あや}き事やあると見て、心にかかる事あらば、その馬を馳^はすべからず。この用意を忘れざるを馬乗りとは申すなり。これ秘藏^{ひざう}の事なりと申しき。

(兼好法師「徒然草」による)

(注) さうなき——並ぶ者のない。 闕——敷居^{しきい}。 勇める——気が荒い。

かばかり恐れなんや——これほど用心するものだろうか。

馬ごとにこはきものなり——馬はみな手こわいものである。

轡——馬の口にかませる器具。 秘藏の事——秘訣^{ひけつ}。

問一——線「鞍を置きかへさせけり」とありますが、泰盛は何のために鞍を置きかえさせたのですか、ア―エから選びなさい。

A 乗る馬を替えるため

I 鞍を修理に出すため

ウ 乗る馬を落ち着かせるため

エ 鞍を正しい位置につけ直すため

問二 Bの文章では、「吉田と申す馬乗り」の言ったことばが紹介されていますが、「吉田」のことばは、どこから始まり、どこで終わりますか。すべて抜き出し、その始めと終わりの四字をそれぞれ書きなさい。ただし、句読点がある場合は字数に含めること。

問三 AとBの文章のどちらの内容にも合わないものを、ア―エから選びなさい。

A 優れた馬乗りは、乗る馬に取りつけている器具をしつかり点検するものである。

I 優れた馬乗りは、扱^{あつか}うことが難しい気性の荒い馬でも乗りこなせるものである。

ウ 優れた馬乗りは、引き出す時の馬の様子を見て、乗る馬を慎重に選ぶものである。

エ 優れた馬乗りは、乗る馬をまずよく観察し、その馬の特徴を把握するものである。

四

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

(亀井勝一郎「私の読書論」による)

(注) 邂逅——出会い。

問一 〓線「片言隻句」とありますが、(1)この四字熟語の構成を説明したものとして最も適当なものを、ア、エから選びなさい。また、(2)「片言隻句」と同じ構成の四字熟語を、A、Dから選びなさい。

- (1) ア 四字それぞれが対等の関係にある
イ 意味の似た二字の語を重ねている
ウ 上の二字が下の二字にかかっている
エ 意味が反対になる二字の語を重ねている

- (2) A 単刀直入 B 起承転結 C 針小棒大 D 千差万別

問二 〓〓線1「そこでは二つの方法がとられると思う」とありますが、その二つの方法を、筆者が述べた順に二つ書きなさい。ただし、一つ目は三十字程度、二つ目は五十字程度で書くこと。

問三 〓〓〓線2「言葉の不自由な性質」とありますが、筆者は、言葉というものが、どのような性質であるから不自由だと言っているのですか、四十五字程度で書きなさい。

問四 〓〓〓線3「この苦闘」とありますが、「この苦闘」とはどのようなものか、次の二つの語を使い、四十五字程度で説明しなさい。

言葉

真の感動

第一部 国語

正 答 表

問題 番号	一			二				三				四				計	配点 通し 番号											
	問 一	問 二	問 三	問 一	問 二	問 三	問 四	問 五	問 一	問 二	問 三	問 四	問 五	問 一	問 二			問 三										
																			問 一	問 二	問 三	問 四	問 五	問 一	問 二	問 三	問 四	問 五
正	エ	目覚めさせた	ウ	イ	イ	イ	ウ	ア	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	60										
答																												
点	3	3	3	3	3	3	6	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3											
基	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰											
準	三 問三 1 ジャンが「自分の代わりに」自転車に乗って くれる」ことが、一文で適切に表現されている ものを正答とする。 2 表現の稚拙なもの、不十分なもの、表記上の 欠陥のあるものについては、各一点を減じる。 3 減点の結果がマイナス点にならないようにす る。 四 問四 1 ①「洋のマウンテンバイクの技術が未熟であ る」こと、②「洋の自尊心を傷つける」こと の二点が、指示された二つの語を使い本文の題 旨に沿って適切に表現されているものを正答と する。 2 1の①、②のいずれかを欠いた場合は、各三 点を減じる。 3 字数については、解答欄の枠内で答えるもの とし、それを超えるもの、または、極端に少な いものについては、各一点を減じる。 4 その他については、問三の採点基準2、3に 準じる。 四 問二 1 ①は、「ある本を読んで感動した言葉に出 会ったとき、その言葉を転写する」ことが、② は、「転写した言葉についての感想、疑問、その 一日に経験したことや考えたことを並べて書き つけておく」ことが、それぞれ適切に表現され ているものを正答とする。 2 その他については、②の問四の採点基準3並 びに③の問三の採点基準2、3に準じる。 三 問三 1 言葉は、①「各人によって様々の解釈や定義 やニュアンスの差を生じる」こと、②「不完 全で、あいまい」であることの二点が適切に表 現されているものを正答とし、いずれか一方を 欠いた場合は三点を減じる。ただし、②につい ては、「不完全」、「あいまい」のいずれかが含ま れていればよい。 2 その他については、②の問四の採点基準3並 びに③の問三の採点基準2、3に準じる。 四 問四 1 ①「真の感動は」言葉で表現しようと思っても 容易に表現しきれない」こと、②「真の感動を 「何とか表現しよう」とする」ことの二点が、指 示された二つの語を使い本文の題旨に沿って適 切に表現されているものを正答とする。 2 1の①、②のいずれかを欠いた場合は、各三 点を減じる。 3 その他については、③の問四の採点基準3並 びに③の問三の採点基準2、3に準じる。																											

(注) 正答表に示された事項以外のものについては、学校の判断による。